

地域経済研究所日誌 (2007年4月～08年3月)

2007年

- 4月2日 地域経済研究所の新スタッフが決定し、第3代所長に長尾正克経済学部教授、副所長に桑原真人経済学研究所長が就任する。また運営委員会のメンバーには、長尾・桑原両教授の他に原田明信経済学部長、武川一彦経済学部経済学科長、本間雅美経済学部評議員、教員代表として松本源太郎経済学部教授の計6名が選任される。
- 4月16日 第1回地域経済研究所運営委員会を開催。
議題
①平成18年度事業の報告
②平成19年度事業について他
- 5月21日 第2回地域経済研究所運営委員会を開催。
議題
①平成19年度地域経済研究所の研究助成対象者について(3名の応募者があったが、既年度研究助成の成果が『地域と経済』に公表されている松本源太郎教授、山田玲良准教授に決定)
②平成19年度地域経済研究所のブックレット執筆予定者について(長尾正克教授、岩堀洋士准教授に決定)
③特別任用教員の研究助成対象者資格の有無について
- 6月4日 第5回経済学部教授会において、長尾所長より地域経済研究所運営委員会の決定事項に関する報告を行う。
- 6月9日 第6回3大学院共同シンポジウム、の開催について、鹿児島国際大学大

学院の本多健吉研究科長より、①共通テーマ、②開催日、③開催スケジュール、以上の3点について連絡がある。共通テーマは「グローバル時代の地域経済」、開催日は12月8日で了解し、札幌大学大学院経済学研究科の報告者として岩崎徹教授を内定する。

- 7月17日 第3回地域経済研究所運営委員会を開催。
議題

①研究補助員の追加採用について
地域経済研究所の研究補助員として、大学院生1名の追加採用を決定する。

- 9月27日 第1回地域経済研究所主催の研究会を実施(報告者:(財)下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部アドバイザー 小倉龍生氏「地域資源を活かした産業クラスターの構築—下川町の事例から—」)。

- 10月9日 追加採用した研究補助員の勤務開始。

- 10月25日 第2回地域経済研究所主催の研究会を実施(報告者:札幌大学経済学部准教授 石井 聡氏「もう一つの経済システム—東ドイツ計画経済下の企業と労働者—」)。

- 11月28日 第1回地域経済研究所主催の講演会を実施(講演者:北海道大学大学院文学研究科教授 井上勝生氏「東アジアの中の明治維新」)。

- 11月29日 第3回地域経済研究所主催の研究会を実施(報告者:新札幌市史編集員 仙波千枝氏「明治期の石狩川水害—明治31年の水害を中心に—」)。

12月8日 第6回3大学院共同シンポジウムが「グローバル時代の地域経済」を共通テーマにして鹿児島国際大学で開かれる。本学からは岩崎 徹経済学部教授が「グローバリズム時代の北海道地域経済」と題して報告する。なお、シンポジウム全体の報告者とテーマは以下の通りである。

共通テーマ

「グローバル時代の地域経済」

報告① 小林隆一氏（鹿児島国際大学経済学部教授）「鹿児島県の持続的発展に向けて」

報告② 岩崎 徹氏（札幌大学経済学部教授）「グローバリズム時代の北海道地域経済」

報告③ 富川盛武氏（沖縄国際大学大学院地域産業研究科・研究科長）「沖縄観光

における海外観光客誘致について」

報告④ 竹内規浩氏（鹿児島国際大学大学院経済学研究科教授）「経済のグローバル化と地域企業の国際化」

2008年

2月2日 地域経済研究所主催の第4回研究会を予定していたが、学生の中に麻疹が発生し、1月30日から2月8日まで学内が閉鎖されたために延期する。

3月22日 第4回地域経済研究所主催の研究会を実施（報告者：北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程 村上明子氏・北海道大学大学院経済学研究科専門研究員 横本真千子氏「イスラム地域の女性労働者——イラン・インドネシアにおける商社の事例——」）。